

令和5年度日本民間生薬検定試験問題 【講師級】 (令和5年12月3日実施)

受験番号 _____ 氏名 _____ 解答と解説 _____

問1 次のそれぞれの文章の()内に適切な言葉を用語欄より選んで記入しなさい。

- ① 従来ユリ科植物とされていたネギは「植物和名-学名インデックス YList (略称: YList)」ではヒガンバナ科の植物とされるようになった。従来の分類では植物の(**外部形態**)の共通点から判定されて行われていたが、新しい分類ではDNA解析による植物体内の(**遺伝子**)情報によって分類され、このYListに記載されて正式名称とすることになった。
- ② 神農本草経の(**下薬**)に記載されている生薬は作用が強いので、専門家の指導の下で使用するもので、(**上薬**)に記載されている生薬は君薬とも呼ばれ、連用してもよいとされている。
- ③ 新鮮なサフランには強い苦味とわずかな芳香があるが、古くなると(**苦味**)成分が加水分解され(**芳香**)成分に変化するため、(**苦味**)が少なく、(**芳香**)が強くなってしまい品質が悪くなる。

【用語欄】 甘味、 辛味、 苦味、 遺伝子、 色、 上薬、 中薬、 下薬、 芳香、 内部形態、 湯通し、 薬用部分、 外部形態、 毒性、 水溶性、 有効、 無効

上の3つの問題の内容は大事なことなので、しっかりと理解しておく必要がある

問2 次の成分を含有する植物を下記の1~15の中から選び、その番号を()内に答えなさい。

ただし、答は1つとは限りません

アネトール (**3、9、12**) ペオノール (**10**)

アトロピン (**7、14**) ペオニフロリン (**5、10**)

1. センブリ 2. ベニバナ 3. ウイキョウ 4. アカヤジオウ 5. シャクヤク

6. センキュウ 7. ハシリドコロ 8. リンドウ 9. アニス 10. ボタン

11. トウキ 12. ダイウイキョウ 13. ミシマサイコ 14. ベラドンナ 15. オケラ

アネトール、クロシン、ヒヨスチアミンやペオニフロリンなどのように複数の植物に含有されているものには注意しましょう

問3 次の文章の内容に誤りのあるものには×を、正しいものには○を（ ）内に答えなさい。

- (×) 生薬の「牡丹皮」と「芍薬」の基原植物は同属の植物であり、また薬用部分も同じ部分を用いられる。 **薬用部分は牡丹皮が根皮で、芍薬は根を用いる**
- (○) 生薬「人參」の主要成分であるジンセノシド Rb1 群は中枢神経系に抑制的に作用する。
- (×) 生薬の「人參」と「桔梗」とは外形が酷似しているが、ヨウ素試薬により「桔梗」の方だけが陽性を示すことで判別できる。 **桔梗にはヨウ素試薬に陽性を示すデンプンが無い**
- (×) オケラ、ベニバナ、ホソバオケラの3種は同じキク科の植物で、それらから作られる生薬も同じ目的で使われる。 **ベニバナは他の2種とは異なる目的に使われる**
- (○) 生薬「地黄」の基原植物の根を水に入れた時に浮かばずに沈むものものから調製された生薬が最上品とされる。

問4. 次の生薬名の読み方を（ ）内にカタカナで答えなさい。

茴香（ **ウイキョウ** ） 柴胡（ **サイコ** ） 附子（ **ブシ** ）
川芎（ **センキュウ** ） 白朮（ **ビャクジュツ** ） 烏頭（ **ウズ** ）

普段見慣れていない漢字が多いので読み方に気を付けましょう

問5 次の設問に答えなさい。

(1) 生薬「五味子」には5種類の味があると言われるが、その味とは？ 解答欄に答えなさい

解答欄 **酸**（すっぱい）、**甘**（あまい）、**辛**（からい）、**苦**（にがい）、**鹹**（しおからい）

生薬「五味子」の名前の由来について聞いており、味の種類に鹹(カン)というあまり聞かない名前があるので注意が必要

(1) 生薬「加工附子」は、どのような目的で作られたものか？ 解答欄に答えなさい

解答欄 **有毒成分** **アコニチン** **減毒化**

生薬「附子」にはアコニチンという強い有毒成分が含有されているため、それを減毒化したものを「加工附子」として用いられることが多い